

基本項目：新時代沖縄の到来

実施項目：沖縄らしい観光リゾート地の形成

重点施策事業名：「スポーツアイランド沖縄」形成に向けた付加価値構築支援事業
(新規)

事業期間：令和4年度～令和13年度

部 課 等 名：文化観光スポーツ部 スポーツ振興課

1 事業の目的・内容

「スポーツアイランド沖縄」の形成を推進するため、各種産業の連携による、沖縄におけるスポーツの付加価値構築に向けた実証を支援することで、更なるスポーツコンベンションの推進等を図るとともに、スポーツ関連産業における新たなビジネスモデル（産業）の創出を図る。

2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和4年度				備 考
	計 画		実 績		
	当 初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
スポーツ アイランド 沖縄形成 に向けた付 加価値構 築支援事 業	65,669	1 「スポーツアイランド沖縄」形成に向けた付加価値構築支援事業 ・スポーツ関連産業における新たなビジネスモデルへの補助	62,039	1 「スポーツアイランド沖縄」形成に向けた付加価値構築支援事業 ・スポーツ関連産業における新たなビジネスモデルへの補助7件	☆ 最終予算額 65,669 執行率 94.5% 不用額 3,630

3 事業の効果/課題

(1) 「スポーツアイランド沖縄」形成に向けた付加価値構築支援事業

効果： スポーツ関連産業における新たなビジネスモデル（産業）の創出を図るため、モデル事業への支援を行った。

課題： 既にスポーツ関連の事業を実施している法人や団体の単独での提案が多く、ものづくり、ICTや医・科学分野など、他の産業やサービスと連携を深めた提案の増加が必要である。

基本項目：新時代沖縄の到来

実施項目：沖縄らしい観光リゾート地の形成

重点施策事業名：スタジアムを核とするスポーツ交流拠点の形成に向けた検討調査
(継続)

事業期間：平成23年度～

部課等名：文化観光スポーツ部 スポーツ振興課

1 事業の目的・内容

国内外からのスポーツコンベンションの誘致を図るため、情報の発信や、各種スポーツコンベンションの歓迎支援策等を実施する。

また、スタジアムを核とするスポーツ交流拠点の形成を図るため、Jリーグ規格スタジアム整備基本計画等を踏まえ、整備費、運営収支の改善等に向けた検討調査を行う。

2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和4年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
スタジアムを核とするスポーツ交流拠点の形成に向けた検討調査	27,135	1 スポーツアイランド沖縄推進費 ・現整備計画等を踏まえ、整備費、運営収支の改善等に向けた検討調査を行う。	26,282	1 スポーツアイランド沖縄推進費 ・現整備計画等を踏まえ、整備費、運営収支の改善等に向けた検討調査を行った。	最終予算額 27,135 執行率 96.9% 不用額 853

3 事業の効果/課題

(1) スポーツアイランド沖縄推進費

効果： J1規格スタジアムを整備することにより、アウェitzerリズムなど新たな誘客による観光振興、「観るスポーツ」を通じた青少年の人材育成、FC琉球や沖縄SVなどの県内チームに活躍の場を確保することによるサッカー振興など、様々な効果が期待できる。

課題： 平成29年に策定した基本計画の課題を整理した令和4年度調査を踏まえ、事業規模や構造、事業方式、複合機能について実現性の高い手法等を検討し、整備の方向性を決定していく必要がある。

基本項目：新時代沖縄の到来

実施項目：沖縄らしい観光リゾート地の形成

重点施策事業名：競技力維持・向上対策事業（継続）

事業期間：平成23年度～

部課等名：文化観光スポーツ部 スポーツ振興課

1 事業の目的・内容

競技力を向上させるための事業等への支援や国民体育大会及び九州ブロック大会への選手派遣等を行い、全国及び国際的に活躍できるトップアスリートを組織的・計画的に育成する。

2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和4年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
競技力維持・向上 対策事業	261,325	1 競技力維持・ 向上対策事業費	240,408	1 競技力維持・ 向上対策事業費	最終予算額 261,325 執行率 92.0% 不用額 20,917
	168,698	・国民体育大会及 び九州ブロック大 会への選手団の派 遣	147,781	・国民体育大会及 び九州ブロック大 会への選手団の派 遣を行った。 ※第77回国民体育 大会（派遣：432名 冬季含む） 第42回九州ブロッ ク大会（派遣：695 名）	
	14,221	・沖縄県民体育大 会の開催	14,548	・41競技8,585名参 加 ※3競技が中止	
	65,242	・競技力向上対策 事業の実施	61,098	・競技力向上対策 事業を実施し、県 内競技団体に対し 強化支援を行った。 （支援団体：41団 体）	
	7,198	・スポーツ少年団 育成事業の実施	11,405	・スポーツ少年団 育成事業を実施し、 交流大会等を行っ た。（県内9競技）	

	5,966	・スポーツ医・科学研究事業の実施	5,576	・スポーツ医・科学研究事業を実施し、サポートプログラムに基づく支援等を行った。(サポートプログラム7チーム、研修会・講習会及び全国会議5回参加)	
--	-------	------------------	-------	--	--

3 事業の効果/課題

(1) 競技力維持・向上対策事業費

効果： 沖縄県スポーツ協会等と連携した県民体育大会の開催や競技力向上等の取組により、本県のスポーツ振興、青少年の健全育成等に貢献した。

課題： 本県の競技力向上などスポーツの振興をより効果的に推進するため、沖縄県スポーツ協会や県内競技団体等との連携が必要である。

基本項目：新時代沖縄の到来

実施項目：沖縄らしい観光リゾート地の形成

重点施策事業名：戦略的MICE誘致促進事業（継続）

事業期間：平成24年度～令和8年度

部課等名：文化観光スポーツ部 MICE推進課

1 事業の目的・内容

国内外からの新たなMICE需要を取り込み、市場の拡大を図るため、MICEの誘致・広報活動、開催支援、受入体制整備、沖縄MICEネットワーク活動、人材育成等に取り組む。

2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和4年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
戦略的MICE誘致促進事業	207,215	<p>1 戦略的MICE誘致促進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内外のMICE見本市・商談会への参加及び誘致セミナーの開催等を通じて、誘致・広報事業を実施する。 ・沖縄県内で開催されるMICEに対して、開催支援等を実施する。 ・沖縄MICE振興戦略に基づき、産学官の連携体制を強化・拡充し、地域におけるMICE受入体制の充実を図る。 	205,446	<p>1 戦略的MICE誘致促進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンラインも活用して国内外のMICEバイヤー向け商談会に参加し(6回)、71件の商談を行った。また、各旅行会社のニーズに合わせ個別勉強会(※対面形式及び一部オンライン)を開催し(18回)、広報・誘致を実施した。 ・沖縄県内で開催されるMICEに対して、開催支援等を301件実施した。 ・産学官で構成する沖縄MICEネットワーク(会員数221団体)を運営し、勉強会を2回開催した。また、人材育成確保を目的とした「沖縄MICE入門パンフレット」を更新し、MICE現場での活用を図った。さらに人材育成講座を8回開催するなど、MICE人材の育成を行っ 	<p>☆ 最終予算額 207,215 執行率 99.1% 不用額 1,769</p>

				た。また、専門アドバイザーの派遣により、多様化するMICE主催者ニーズに対して事業者が抱える課題等に対する助言及び指導を実施し、受入体制の充実を図った。
--	--	--	--	--

3 事業の効果/課題

(1) 戦略的MICE誘致促進事業

効果： 国内外のMICEバイヤー向け商談会に参加したことで、MICE開催地としての沖縄の認知度向上が見込まれる。また、3年ぶりに対面形式で県独自の商談会を開催し、県内MICE事業者と県外旅行業者等とのビジネス機会を創出のうえ、沖縄でのMICE開催需要の喚起を図った。また、貸切バス等の支援や開催歓迎支援等により、MICE主催者の満足度向上が見込まれる。さらに、沖縄MICEネットワークの運営を通じた産学官の連携強化や人材育成講座の開催、専門アドバイザーの派遣により、受入体制の強化が図られた。

課題： 沖縄でのMICE参加者の満足度向上に向けた質の高いサービスの提供と、それに関わる人材の育成やMICEコンテンツの開発など受入体制を強化する必要がある。また、DXやSDGs等、新たな社会的取組を推進し、競合地との差別化を図るため、令和3年度に作成した「沖縄MICE開催におけるサステナビリティガイドライン」の活用を促進させる必要がある。さらに、大型案件の分散開催が可能となるよう各施設やホテル事業者の連携強化を諮るほか、MICEビジネス機会の創出などに戦略的に取り組む必要がある。

基本項目：新時代沖縄の到来

実施項目：沖縄らしい観光リゾート地の形成

重点施策事業名：マリンタウンMICEエリア形成事業（継続）

事業期間：令和2年度～令和4年度

部 課 等 名：文化観光スポーツ部 MICE推進課

1 事業の目的・内容

既存施設では対応できない大型MICEの誘致を促進するため、多目的ホールや展示場、中小会議室を備えた全天候型施設及びエリア全体でMICEを受け入れる周辺環境の整備を行う。

2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和4年度				備 考
	計 画		実 績		
	当 初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
マリンタ ウンMICE エリア形 成事業	38,238	1 マリンタウン MICEエリア形 成事業 ・既存施設では対 応できない大型MI CEの誘致を促進す るため、多目的ホ ールや展示場、中 小会議室を備えた 全天候型施設及び エリア全体でMICE を受け入れる周辺 環境の整備を行 う。	38,530	1 マリンタウン MICEエリア形 成事業 ・既存施設では対 応できない大型MI CEの誘致を促進す るため、多目的ホ ールや展示場、中 小会議室を備えた 全天候型施設及び エリア全体でMICE を受け入れる周辺 環境の整備に向 け、沖縄県マリン タウンMICEエリア 形成事業基本計画 を策定、公表した。	最終予算額 38,714 執行率 99.5% 不用額 184

3 事業の効果/課題

(1) マリンタウンMICEエリア形成事業

効果： 令和4年2月に公表した沖縄県マリンタウンMICEエリア形成事業基本計画（案）について、広く県民意見の公募を行うとともに、西原町及び与那原町にて、同基本計画（案）に関する説明会を実施した。県民意見の公募の結果を整理し、沖縄県マリンタウンMICEエリア形成事業基本計画を策定し、公表した。

また、上記取組と並行して大型MICEエリア振興に関する協議会及び作業部会を開催した。

課題： 民間事業者とのサウンディング、関係市町村との連携を進めながら、周辺公共施設等を活用したMICEエリア全体の環境整備、SDGsやデータ・新技術を活用したスマートシティ化など、魅力あるエリア形成の推進に向けて取り組む必要がある。

また、PFI法に基づく実施方針等の作成に向けた検討を進める必要がある。

基本項目：誇りある豊かさ

実施項目：国際交流・協力の推進

重点施策事業名：世界のウチナーネットワーク強化推進事業（継続）
第7回世界のウチナーンチュ大会開催事業（継続）

事業期間：平成29年度～

部 課 等 名：文化観光スポーツ部 交流推進課

1 事業の目的・内容

「世界のウチナーンチュの日」が10月30日と制定されたことを受けて、同日を世界中で沖縄に想いを馳せる象徴的な日として定着させ、ウチナーネットワークの継承・発展を一層効果的に進めるための取組を実施する。

令和4年度は第7回世界のウチナーンチュ大会を開催する。

2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和4年度				備 考
	計 画		実 績		
	当 初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
世界のウチナーネットワーク強化推進事業	290,668	1 世界のウチナーネットワーク強化推進事業	290,592	1 世界のウチナーネットワーク強化推進事業	☆ 最終予算額 290,668 執行率 99.9% 不用額 76
	6,174 (1)(2) 一括で 委託	(1) 広報	6,174 (1)(2) 一括で 委託	(1) 世界のウチナーンチュの日を中心にWeb、SNS、ラジオ等で広報を実施した。	最終予算額 6,174 不用額 0
	6,473	(2) 世界のウチナーンチュの日トークイベント		(2) 県内で活躍するタレント等によるトークイベントを実施した。 日時：12月15日 場所：パレット市民劇場 参加者：120名 YouTube再生数：800回（2023年3月19日時点）	
		(3) レッツスタディー！ウチナーネットワーク事業	6,473	(3) 県内小中学校等を中心に移民歴史出前講座、指導者養成の講座を実施した。 ① 出前講座受講者：2,113名	最終予算額 6,473 不用額 0

	5,886	(4) 沖縄文化芸能指導者派遣事業	5,886	②養成講座受講者：44名 (4) オンラインで海外県人会に芸能指導を実施した。指導先：①カルガリーオキナワクラブ②、ボリビアオキナワ県人会	最終予算額 5,886 不用額 0
	269,865	(5) 第7回世界のウチナーンチュ大会開催事業	269,865	(5) 令和4年度の第7回世界のウチナーンチュ大会を開催した。前夜祭：令和4年10月30日(日) 大会期間：令和4年10月31日(月)～11月3日(木・祝) 参加者：海外から1,790人 国内から1,903人 他オンラインによる参加	最終予算額 269,865 不用額 0
	2,270	(6) その他、事務費等	2,194	(6) その他、事務費等	最終予算額 2,270 不用額 76

3 事業の効果/課題

(1) 世界のウチナーネットワーク強化推進事業

効果：①「世界のウチナーンチュの日」に関する認知度は約44%であった。

②トークイベントにおける来場者アンケートの結果、「世界のウチナーンチュの日」に関する関心が高まった割合は約99%であった。

③出前講座1,000名以上の目標に対して、実績は2,113名となった。

④派遣の成果を披露する視聴者アンケートの結果、海外県人会の活動や沖縄文化芸能について興味・関心が高まった割合は100%であった。

⑤ 令和4年度は、第7回世界のウチナーンチュ大会を開催し、海外からの参加者は1,790人、国内からの参加者は1,903人であった。

課題： 「世界のウチナーンチュの日」に関する認知度は約44%と以前として低いことからSNS等を通じた情報発信の強化やウチナーネットワークに触れる機会を増やすことで、特に若い世代を中心に認知度向上を図り、ウチナーネットワークの次世代への継承と発展につなげていく必要がある。

「第7回世界のウチナーンチュ大会」については、新型コロナウイルス感染症の感染状況や経済的影響等から、来県による大会参加が困難となる皆様にも参加頂けるよう、オンラインも含めたハイブリット形式による開催を実施したが、次回開催に向けてもより多くの参加が可能な実施形式を検討する必要がある。

基本項目：誇りある豊かさ

実施項目：国際交流・協力の推進

重点施策事業名：次世代ウチナーネットワーク継承基盤構築事業（継続）

事業期間：昭和44年度～

部課等名：文化観光スポーツ部 交流推進課

1 事業の目的・内容

ウチナーネットワークを次世代へ安定的に継承するためのプラットフォームを構築する。

2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和4年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
次世代ウチナーネットワーク継承基盤構築事業	32,016	1 次世代ウチナーネットワーク継承基盤構築事業 ・ 県内青少年と海外県系人子弟との交流、ウチナーネットワークを継承するためのプラットフォームの構築等を行う。	32,016	1 次世代ウチナーネットワーク継承基盤構築事業 ・ 令和4年度子弟等留学生として、9月からの約半年間、7名の子弟等を受入れた。	最終予算額 32,016 執行率 100%

3 事業の効果/課題

(1) 次世代ウチナーネットワーク継承基盤構築事業

効果： 世界に約42万人いるといわれる県系人を中心とした世界のウチナーネットワークを安定的に継承することで、文化、経済、観光等も含めた多元的な交流の促進につながることを期待できる。実際、子弟等留学生のOBOGの中には、各国の県人会等で中心的な役割を担っている者や、琉舞教室や三線工房等を開設している者などもおり、ウチナーネットワークの継承・発展に寄与している。

課題： 海外では県系人の世代交代が進み、沖縄への関心や郷土への愛着が薄れていることが懸念されている。県内においても、本県が移民県であり、かつて困難な時代に海外県系人に支援された歴史があるということが十分県民に伝わっていない現状もあり、次世代へ安定的にウチナーネットワークが継承されるかが課題である。

基本項目：誇りある豊かさ

実施項目：国際交流・協力の推進

重点施策事業名：おきなわ国際協力人材育成事業（継続）

事業期間：平成25年度～

部 課 等 名：文化観光スポーツ部 交流推進課

1 事業の目的・内容

県内高校生の開発途上国等への派遣や、県内高校等で国際協力について学ぶ出前講座を実施し、国際協力の必要性を学び、グローバルな視点を持った、将来の本県の国際協力を担う人材を育成する。

2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和4年度				備 考
	計 画		実 績		
	当 初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
おきなわ 国際協力 人材育成 事業	25,066 各項目 を一括 委託	1 おきなわ国際 協力人材育成事 業 (1)国際協力レポ ーター事業 ・県内の高校生を 国際協力レポーター として開発途上 国に派遣し、国際 協力の現場を視察 させ現地の若者等 との交流を体験さ せる。 (2)国際協力理解 促進事業 ・県内の学校等で 国際協力活動の経 験者による出前講 座を実施し、国際 協力の必要性等の 理解促進を図る。	24,956 各項目 を一括 委託	1 おきなわ国際 協力人材育成事 業 (1)国際協力レポ ーター事業 ・県内の高校生11 名を国際協力レポ ーターとしてラオ ス人民民主共和国 に派遣し、国際協 力の現場視察や現 地の方との交流等 を行った。 (2)国際協力理解 促進事業 ・離島を含む 21 校（22回）で、JI CA海外協力隊経 験者等による国際 協力に関する出前 講座を実施した。 ①期間：10～1月 ②参加者数： 1,468名	☆ 最終予算額 25,066 執行率 99.6% 不用額 110

3 事業の効果/課題

(1) おきなわ国際協力人材育成事業

効果： 国際協力の現場の視察や、現地でのホームステイ等での交流を通して、グローバルな視点を持ち国際協力に対する興味や意識が高い若い人材の

育成に寄与した。

出前講座参加者へのアンケート調査の結果、国際協力を必要と感じた生徒の割合が約98%と高い数値になった。

課題： 派遣においては、引き続き、事前学習・事後学習の中で、国際協力を身近に捉えることが出来るようプログラムを組む必要がある。また、出前講座においては、受講者の関心度や規模等に合わせて内容を工夫する必要がある。

派遣に関し、JICAや受託業者など関係機関と連携し、外務省の渡航情報等海外の安全情報等の把握に努めるとともに、派遣国（地域）決定後についても、現地の最新の情勢を踏まえて臨機応援に対応することも必要である。

出前講座に関しては、応募がない学校などへの情報発信を強化するとともに、学校へのアプローチを積極的に行う必要がある。

基本項目：誇りある豊かさ

実施項目：国際交流・協力の推進

重点施策事業名：沖縄福建友好県省交流事業（継続）

事業期間：平成9年度～

部 課 等 名：文化観光スポーツ部 交流推進課

1 事業の目的・内容

令和4年は沖縄県と福建省が友好県省を締結して25年の節目の年に当たることから、友好県省締結25周年記念式典等、両地域の友好関係の更なる発展に向けた事業を展開する。

2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和4年度				備 考
	計 画		実 績		
	当 初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
沖縄福建 友好県省 交流事業	22,086	1 沖縄福建友好 県省交流事業 ・沖縄福建友好県 省25周年記念式典 を開催する。	18,708	1 沖縄福建友好 県省交流事業 ・沖縄福建友好県 省25周年記念式典 を、沖縄県と福建 省をオンラインで 中継し開催した。 日時：令和4年11 月25日（金） 場所：福州園（那 覇）、福建省 オ ンライン中継	最終予算額 20,688 執行率 90.4% 不要額 1,980

3 事業の効果/課題

(1) 沖縄福建友好県省交流事業

効果： 沖縄福建友好県省25周年記念式典を、沖縄県と福建省をオンラインで中継して開催した。沖縄県知事、福建省長等要人の挨拶、福建省公費留学生相互派遣協議書の改定、沖縄県と福建省の若者による同時エイサー演舞を行い、沖縄県と福建省の友好の絆を確認した。

課題： コロナ禍以降の交流の再開に向けた取組が課題となっている。

基本項目：誇りある豊かさ

実施項目：国際交流・協力の推進

重点施策事業名：北前船寄港地フォーラムin Okinawa開催事業（新規）

事業期間：令和4年度

部 課 等 名：文化観光スポーツ部 交流推進課

1 事業の目的・内容

「北前船寄港地」ルートを点から面へ、回廊として発展させ、地域活性化を図る北前船寄港地フォーラムを復帰50周年記念事業として本県で開催する。

2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和4年度				備考
	計 画		実 績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
北前船寄港地フォーラムin Okinawa開催事業	20,000	1 北前船寄港地フォーラムin Okinawa開催事業 ・「北前船寄港地」フォーラムを復帰50周年記念事業として本県で開催する。	19,804	1 北前船寄港地フォーラムin Okinawa開催事業 ・「北前船寄港地」フォーラムを復帰50周年記念事業として本県で開催。	最終予算額 20,000 執行率 99.0% 不用額 196

3 事業の効果/課題

(1) 北前船寄港地フォーラムin Okinawa開催事業

効果： 本フォーラムは、琉球とアジア諸国との交流・交易の歴史を振り返る契機として、復帰50周年記念事業に位置付け開催した。北前船との関わりをはじめとする琉球王国時代の交易・交流の歴史に関する基調講演、沖縄のソフトパワーや特色ある伝統工芸、食文化に関するトークセッション等を開催し、沖縄の多彩な地域資源の価値を高めるとともに、参加した県内外の自治体、企業関係者等に対し、沖縄の魅力を発信した。

課題： 今回のフォーラムで醸成した自治体・関係者等とのネットワークを活かしながら、引き続き、関連自治体との地域間交流の促進等を図っていくことが課題となっている。

基本項目：沖縄らしい優しい社会の構築

実施項目：医療の充実・健康福祉社会の実現

重点施策事業名：旅行者検査実施支援事業（継続）

事業期間：令和3年度～

部課等名：文化観光スポーツ部 観光振興課

1 事業の目的・内容

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けて、県外との往来によるウイルスの移入出を防ぐため、那覇空港及び本土と直行便の就航する県内離島空港におけるPCR等検査体制を整備するとともに、旅行者の検査受検を支援する。

2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和4年度				備考
	計 画		実 績		
	当 初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
旅行者検査実施支援事業	352,948	1 旅行者検査実施支援事業 ・旅行者専用相談窓口の設置 ・空港におけるPCR検査等の実施	239,912	1 旅行者検査実施支援事業 ・旅行者専用相談窓口の相談件数 電話相談件数 2,193件 ・空港におけるPCR検査等の実施 検査件数 那覇空港 93,044件 宮古空港 20,567件 下地島空港 3,756件 新石垣空港 9,586件 久米島空港 4,378件	最終予算額 253,355 執行率 94.7% 不用額 13,443

3 事業の効果/課題

(1) 旅行者検査実施支援事業

効果： 那覇空港等の水際で新型コロナウイルス感染症の流入を防止し、県内における感染の流行を押さえ込むことで、県民が安心して生活でき、旅行者が安全・安心に滞在できる体制が構築され、受入体制の強化に繋がる。

課題： 5類感染症への移行や今後の感染状況を踏まえ、体制を見直す必要がある。

基本項目：沖縄らしい優しい社会の構築

実施項目：医療の充実・健康福祉社会の実現

重点施策事業名：社会体育活動の推進（継続）

事業期間：平成10年度～

部課等名：文化観光スポーツ部 スポーツ振興課

1 事業の目的・内容

総合型地域スポーツクラブや各スポーツ関係機関と連携し、県民がスポーツで
きる機会の拡大とスポーツへの関心と意欲を高め、社会体育活動の推進を図る。

2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和4年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
社会体育 活動の推 進	9,007		7,406		最終予算額 9,007 執行率 82.2% 不用額 1,601
	1,428	1 生涯スポーツ 振興事業費 ・スポーツ推進審 議会の運営。 ・生涯スポーツ関 係表彰（文部科学 省生涯スポーツ功 労者・優良団体、 スポーツ推進委員 功労者表彰、沖縄 県生涯スポーツ功 労者、優良団体表 彰、叙勲・褒章・ 地域総合功労表 彰、沖縄県功労者 表彰など）の実施。	676	1 生涯スポーツ 振興事業費 ・スポーツ推進審 議会の開催（1 回）。 ・文部科学省生涯 スポーツ功労者表 彰、スポーツ推進 委員功労者表彰 （1名、1名）。 ・沖縄県生涯スポ ーツ功労者、優良 団体表彰（1団 体）。	最終予算額 1,428 執行率 47.3% 不用額 752
	3,714	2 社会体育活動 支援事業費 ・沖縄県スポーツ ・レクリエーショ ン祭の開催。 ・県立学校体育施 設開放事業の実 施。	3,671	2 社会体育活動 支援事業費 ・沖縄県スポーツ ・レクリエーショ ン祭の開催（種目 数25種目、参加者 数3,859人） ・県立学校体育施 設開放事業の実 施	最終予算額 3,714 執行率 98.8% 不用額 43

			(開放校10校、利用団体・種目11団体・9種目)。	
3,865	3 広域スポーツセンター事業費 ・地域住民が、身近な地域でスポーツに親しむことができる総合型地域スポーツクラブの創設、育成及び支援を行い、総合型地域スポーツクラブに対する助言・指導を行う。 ・総合型地域スポーツクラブ担当者会議及び研修会の実施。 ・総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度を各クラブや市町村に対して周知活動を行う。	3,059	3 広域スポーツセンター事業費 ・県スポーツ協会にクラブアドバイザーを配置し、クラブ訪問等によりクラブ運営に関する助言・指導を実施(13件)。 ・総合型地域スポーツクラブ研修会の実施(参加者20名)。 ・総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度を各クラブや市町村に対して登録認証制度説明会を実施(参加者28名)	最終予算額 3,865 執行率 79.1% 不用額 806

3 事業の効果/課題

(1) 生涯スポーツ振興事業費

効果： スポーツ推進審議会を開催し本県におけるスポーツ振興施策に反映させるとともに、生涯スポーツ功労者表彰の実施等を通じ本県の生涯スポーツを推進した。

課題： 生涯スポーツの更なる推進を図るためには、当該取組を継続して実施するほか、他県の優良事例等の情報を収集し、取り組んでいくことが必要である。

(2) 社会体育活動支援事業費

効果： 沖縄県スポーツ・レクリエーション祭を開催し、誰でも気軽にスポーツに親しむ機会を県民に提供することや、県民にとって身近なスポーツ施設である学校体育施設を有効活用することを通じ生涯スポーツを推進した。

課題： 沖縄県スポーツ・レクリエーション祭については、より多くの県民の参加に繋がる方法を検討し、学校体育施設開放事業については、開放校及び利用団体数を拡充できるよう、学校及び活動団体の加盟協会等との連携の強化が必要である。

(3) 広域スポーツセンター事業費

効果： 地域住民が、身近な地域でスポーツに親しむことができる総合型地域スポーツクラブの創設、育成及び支援を行うことを通じ生涯スポーツの推進を図った。

課題： 総合型地域スポーツクラブの運営については、人材の確保や財政面において課題を抱えているクラブがあるため、引き続きクラブ訪問等を行い助言・指導を推進する。

基本項目：沖縄らしい優しい社会の構築

実施項目：歴史と誇りある伝統文化の継承と発展

重点施策事業名：美ら島おきなわ文化祭2022開催事業（継続）

事業期間：令和2年度～令和4年度

部課等名：文化観光スポーツ部 文化振興課

1 事業の目的・内容

令和4年度は、美ら島おきなわ文化祭2022の開催年度となり県実行委員会が主催する総合フェスティバルとして、開閉会式、沖縄文化発信事業、シンポジウム、国際交流事業、障がい者交流事業や、また市町村実行委員会等が主催する分野別フェスティバルが実施され、中央文化団体の発表等の他、県内各地域で多彩な文化イベントが開催される。

2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和4年度				備考
	計 画		実 績		
	当 初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
美ら島お きなわ文 化祭2022 開催事業	398,323	1 美ら島おきな わ文化祭2022 開催事業 ・第37回国民文化 祭、第22回全国障 害者芸術文化祭 は、統一名称とし、 復帰50周年記念事 業として開催す る。 ・県、県内市町村、 全国の文化団体等 と連携したイベン トを行う。	357,643	1 美ら島おきな わ文化祭2022開 催事業 ・第37回国民文化 祭、第22回全国障 害者芸術文化祭を、 統一名称「美ら島 おきなわ文化祭202 2」とし、復帰50周 年記念事業として 開催した。 ・県、県内市町村、 全国の文化団体等 と連携したイベン トを行った。	最終予算額 398,323 執行率 89.8% 不用額 40,680

3 事業の効果/課題

(1) 美ら島おきなわ文化祭2022開催事業

効果： 10月22日から11月27日までの37日間開催され、県内全市町村で164のイベントが開催され、58万人の来場者があった。

課題： 今大会での経験や体験、新たな発見を、県民の文化芸術活動の充実や文化芸術交流の推進として、未来への新たな創造に繋げていく必要がある。

基本項目：沖縄らしい優しい社会の構築

実施項目：歴史と誇りある伝統文化の継承と発展

重点施策事業名：琉球歴史文化の日周知啓発推進事業（継続）

事業期間：令和3年度～

部 課 等 名：文化観光スポーツ部 文化振興課

1 事業の目的・内容

「琉球歴史文化の日」についての関連イベント等を通じて県民への周知啓発を推進する。

2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和4年度				備 考
	計 画		実 績		
	当 初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
琉球歴史 文化の日 周知啓発 推進事業	10,202	1 琉球歴史文化 の日周知啓発推 進事業 ・琉球歴史文化の 日とその趣旨につ いて普及・啓発す るための広報活動 と、県民が沖縄の 歴史と文化への理 解を深めるための 関連事業を実施す る。	10,155	1 琉球歴史文化 の日周知啓発推 進事業 ・琉球歴史文化の 日とその趣旨につ いて普及・啓発す るための広報活動 と、県民が沖縄の 歴史と文化への理 解を深めるための 関連事業を実施し た。	最終予算額 10,202 執行率 99.5% 不用額 47

3 事業の効果/課題

(1) 琉球歴史文化の日周知啓発推進事業

効果：先人たちが創り上げてきた沖縄の歴史と文化への理解を深め、故郷への誇りや愛着を感じられる地域社会の形成に取り組むとともに、新たな歴史と文化を自らの手で創造することが図られた。

課題：琉球歴史文化の日（11月1日）を周知し、沖縄の歴史と文化に対する県民の認知度を向上させるため、引き続き、各市町村等と連携した取組を行う必要がある。

基本項目：沖縄らしい優しい社会の構築

実施項目：歴史と誇りある伝統文化の継承と発展

重点施策事業名：琉球歴史文化コンテンツ創出支援事業（新規）

事業期間：令和4年度～

部課等名：文化観光スポーツ部 文化振興課

1 事業の目的・内容

琉球の歴史・文化資源をテーマとした新たなコンテンツを制作する取組について事業実施者への支援（補助）や、琉球の歴史文化を活用し、文化の産業化に向けた取組をPRする講演会等を開催する。

2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和4年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
琉球歴史 文化コン 텐츠創 出支援事 業	40,000	1 琉球歴史文化 コンテンツ創 出支援事業 ・新たな産業の創 出にむけ、文化芸 術団体等が、文化 資源を活用し様々 な産業分野と連携 する取組を行う。 ・文化資源を活用 し様々な産業分野 と連携する文化芸 術団体に対して補 助金を交付する。	34,849	1 琉球歴史文化 コンテンツ創 出支援事業 ・新たな産業の創 出にむけ、文化芸 術団体等が、文化 資源を活用し様々 な産業分野と連携 する取組を行っ た。 ・文化資源を活用 し様々な産業分野 と連携する文化芸 術団体に対して補 助金を6団体に交 付した。	☆ 最終予算額 37,000 執行率 94.2% 不用額 2,151

3 事業の効果/課題

(1) 琉球歴史文化コンテンツ創出支援事業

効果： 県内の文化芸術団体等を対象として、歴史文化コンテンツを制作する取組6件を採択し、支援した。これらの支援により、本県の文化芸術の産業化や文化芸術に係るビジネスを支える環境整備が図られた。

課題： 本県には優れた文化資源があり地域振興の資源として大きな可能性を秘めている。これらの資源の活用を図るため、引き続き、文化芸術の産業化に資する取組を支援する必要がある。

基本項目：沖縄らしい優しい社会の構築

実施項目：歴史と誇りある伝統文化の継承と発展

重点施策事業名：沖縄文化芸術の創造発信支援事業（継続）

事業期間：平成29年度～令和8年度

部 課 等 名：文化観光スポーツ部 文化振興課

1 事業の目的・内容

県内文化芸術活動の持続的発展に資する取組を、文化専門人材の目利きのもとで公募、審査、採択し、支援する。

2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和4年度				備 考
	計 画		実 績		
	当 初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
沖縄文化 芸術の創 造発信支 援事業	81,683	1 沖縄文化芸術 の創造発信支援 事業 ・県内文化芸術活 動の持続的発展に 資する取組を公 募、審査、採択し、 支援を行う。	74,499	1 沖縄文化芸術 の創造発信支援 事業 ・県内文化芸術活 動の持続的発展に 資する取組を公 募、審査、採択し、 支援を行った。	☆ 最終予算額 81,683 執行率 91.2% 不用額 7,184

3 事業の効果/課題

(1) 沖縄文化芸術の創造発信支援事業

効果： 県内の文化関係団体等を対象として①文化芸術団体等の組織力向上・基盤強化に資する取組6件、②文化芸術を次代に引き継ぐ新たな創造発信を伴う取組11件、③文化芸術を通じて地域の諸課題解決や活性化の促進等に寄与する取組5件の合計22件を採択し支援した。これらの支援により、本県の伝統芸能や文化芸術といった文化資源を活用した文化芸術活動の持続的発展が図られた。

課題： 引き続き、関係団体等と意見交換を行いながら、文化資源を活用した文化芸術活動の持続的発展を推進する必要がある。

基本項目：沖縄らしい優しい社会の構築

実施項目：歴史と誇りある伝統文化の継承と発展

重点施策事業名：しまくとうばアーカイブ事業（新規）

事業期間：令和4年度～令和8年度

部課等名：文化観光スポーツ部 文化振興課しまくとうば普及推進室

1 事業の目的・内容

沖縄文化の基層である「しまくとうば」を次世代へ継承するため、しまくとうばのアーカイブ化の取組を行う。

2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和4年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
しまくとうばアーカイブ事業	22,500	1 しまくとうばアーカイブ事業 ・各地域ごとの文法的事項が織り込まれた文法調査票の収集 ・文法調査票と連動した教材の作成 ・教科書に掲載されている歌、文学的文章の収録 ・自然談話の収録	12,390	1 しまくとうばアーカイブ事業 ・文法調査票（動詞活用調査票）44地域の収集を行った。 ・教材ひな形（小学校中学年）1セットの作成を行った。 ・教科書掲載の歌、文学的文章（小学校低学年）50地域の収録を行った。 ・自然談話2話の収録を行った。	☆ 最終予算額 22,500 執行率 55.1% 不用額 10,110

3 事業の効果/課題

(1) しまくとうばアーカイブ事業

効果： 文法調査票の収集数、教科書掲載の曲数等、委託事業の仕様で求めた成果を全て達成し、音声資料や映像資料等が十分でない地域のしまくとうばアーカイブ化の取組を行った。

課題： 調査対象地域によっては、予定していた地域の話者が高齢で対応が困難で、一部地域を変更して実施した地点もある。

そのため、地域の話者が減少しつつある現状の中で、いかに県、受託先の琉球大学、調査対象地域の話者と綿密な連携を取りながら、迅速な調査を行えるかが課題となっている。

基本項目：沖縄らしい優しい社会の構築

実施項目：歴史と誇りある伝統文化の継承と発展

重点施策事業名：しまくとうば普及継承事業（継続）

事業期間：平成26年度～

部 課 等 名：文化観光スポーツ部 文化振興課しまくとうば普及推進室

1 事業の目的・内容

沖縄文化の基層である「しまくとうば」を普及継承するため、県民大会の開催や、平成29年度に設置した「しまくとうば普及センター」を中心とした各地域の普及人材育成等を行う。

2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和4年度				備 考
	計 画		実 績		
	当 初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
しまくとうば普及継承事業	70,032	<p>1 しまくとうば普及継承事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県民大会を開催する。 ・しまくとうば読本を作成し、県内小中学生へ配付する。 ・しまくとうばの普及活動を行う民間団体に対し、補助金を交付する。 ・県内で人材養成講座を開催する。 ・しまくとうば普及センターの運営を行う。 	61,975	<p>1 しまくとうば普及継承事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県民大会第一部、県民大会第二部、関連イベント及び動画配信の実施を通じて気運醸成を行った。 ・県内の小学校268校、中学校149校、特別支援学校17校へしまくとうば読本（※PDF版）配布を行った。 ・しまくとうば普及活動を行う民間団体に対して、合計8件・6,536千円の補助金を交付した。 ・しまくとうば講師養成講座を開催。 合格者数 八重山中級：26名 北部上級：16名 合 計：42名 ・沖縄県文化協会へしまくとうば普及センターの運営を委託し、各地域 	<p>☆ 最終予算額 70,032 執行率 88.5% 不用額 8,057</p>

		<p>・しまくとうば県民意識調査を実施する。</p>	<p>におけるしまくとうば普及継承活動や県民運動を推進した。</p> <p>・しまくとうばに関する実態を把握し、しまくとうばの普及における今後の課題と効果的な普及方法の検討に向けた調査を実施した。</p>
--	--	----------------------------	--

3 事業の効果/課題

(1) しまくとうば普及継承事業

効果： 幅広い世代へ「しまくとうば」に触れる機会を提供することで、「しまくとうば」普及の気運醸成を図った。

しまくとうば普及センターを中心に、市町村や地域の団体が行うしまくとうば講座への支援等を行った。

課題： 令和4年度のしまくとうば県民意識調査結果によると、しまくとうばの普及継承の各種取組についての認知度が全体的に減少しているため、各地域の普及団体等と連携し、「しまくとうばの日」、「しまくとうば県民大会」等の取組に対する認知度の向上に一層取り組んでいく必要がある。

基本項目：沖縄らしい優しい社会の構築

実施項目：歴史と誇りある伝統文化の継承と発展

重点施策事業名：沖縄食文化保存普及継承事業（継続）

事業期間：平成28年度～令和8年度

部課等名：文化観光スポーツ部 文化振興課

1 事業の目的・内容

「沖縄の伝統的な食文化の普及推進計画（沖縄食文化創生プロジェクト）第2期計画」に基づき、琉球料理を基盤とする沖縄の伝統的な食文化を保存するための担い手を育成し、同時に、伝統的な食文化の形成された過程や魅力等をわかりやすく情報発信し、県民や観光客への普及・継承を推進する。

2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和4年度				備考
	計 画		実 績		
	当 初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
沖縄食文化保存普及継承事業	21,250	1 沖縄食文化保存普及継承事業 ・沖縄の伝統的な食文化の保存・普及・継承に向け、琉球料理伝承人の育成及び出前講座モデル事業、学校等への普及啓発ツール作成等を行う。	19,537	1 沖縄食文化保存普及継承事業 ・沖縄の伝統的な食文化の保存・普及・継承に向け、琉球料理伝承人の育成及び出前講座モデル事業、学校等への普及啓発ツール作成等を行った。	☆ 最終予算額 21,250 執行率 91.9% 不用額 1,713

3 事業の効果/課題

(1) 沖縄食文化保存普及継承事業

効果： 琉球料理伝承人の育成及び出前講座モデル事業について、新たに琉球料理伝承人を13名育成し、学校関係者、食関連業界団体等、県内地域住民、県外沖縄関連事業者及び修学旅行関係者向けにそれぞれ各1回、合計5回出前講座を実施した。

課題： 引き続き、若い世代を含む県民、観光客に向け、沖縄の伝統的な食文化について普及促進を図り、認知度向上へ繋げる必要がある。

基本項目：沖縄らしい優しい社会の構築

実施項目：歴史と誇りある伝統文化の継承と発展

重点施策事業名：琉球王国文化遺産集積・再興事業（継続）

事業期間：平成27年度～令和11年度

部課等名：文化観光スポーツ部 博物館・美術館

1 事業の目的・内容

戦後70年余を経て、戦災により失われた相伝の8分野のティーワジャ（手わざ）など王国時代の精緻で至高の技の世界を現代に蘇らせ、世界に誇る沖縄の手わざの力をモノを通して国内外へ発信し、琉球王国文化をブランドとした文化観光拠点として沖縄をアピールする。

2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和4年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
琉球王国 文化遺産 集積・再 興事業	16,144	1 琉球王国文化遺産集積・再興事業 ・琉球王国時代の文化遺産に関する有識者からなる監修者会議等を開催し、模造復元の対象選定に向けた復元候補及び関連資料の調査、復元品製作に向けた基本設計を行う。	14,802	1 琉球王国文化遺産集積・再興事業 ・琉球王国時代の文化遺産に関する有識者からなる監修者会議等を開催し、模造復元の対象選定に向けた復元候補及び関連資料の調査(179件)を行うとともに、復元品製作に向けた基本設計を行った。	☆ 最終予算額 16,144 執行率 91.7% 不用額 1,342

3 事業の効果/課題

(1) 琉球王国文化遺産集積・再興事業

効果： 監修者会議等による有識者からの意見等を反映して復元候補資料及び関連資料の調査を8分野で179件実施したこと等をはじめ、本事業の調査研究・取組内容に関する報告会を実施することにより、琉球王国文化の周知・手わざの魅力の発信の取組を推進することができた。

課題： 復元候補の中から、原材料や製作者の確保等を検討した上で優先順位をつけ、より実現性が高い模造復元対象資料を絞り込む必要がある。また、模造復元の製作工程等を広く紹介するための効果的な発信方法を検討する必要がある。

基本項目：沖縄らしい優しい社会の構築

実施項目：歴史と誇りある伝統文化の継承と発展

重点施策事業名：復帰50周年沖縄音楽コンサート開催事業（新規）

事業期間：令和4年度

部課等名：文化観光スポーツ部 文化振興課

1 事業の目的・内容

先人達が創り上げてきた沖縄音楽の歴史と文化への理解を深め、多くの県民が故郷への誇りや愛着を感じられる沖縄音楽文化の継承と発展を図る。

2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和4年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
復帰50周年沖縄音楽コンサート開催事業	17,000	1 復帰50周年沖縄音楽コンサート開催事業 ・復帰50周年の節目として沖縄音楽を県内外に発信し、沖縄音楽の潮流を一堂に会するコンサートを開催する。	17,000	1 復帰50周年沖縄音楽コンサート開催事業 ・復帰50周年の節目として沖縄音楽を県内外に発信し、沖縄音楽の潮流を一堂に会するコンサートを開催した。	最終予算額 17,000 執行率 100%

3 事業の効果/課題

(1) 復帰50周年沖縄音楽コンサート開催事業

効果： 復帰50周年の節目に、沖縄音楽のコンサートやパネル展示、ワークショップを開催することにより、県民にこれまでの沖縄音楽の歴史を振り返る機会を提供するとともに、沖縄力の発信、文化芸術活動の活性化に繋がった。

課題： 引き続き沖縄音楽の歴史と文化への理解を深め、多くの県民が故郷への誇りや愛着を感じられる沖縄音楽文化の継承と発展を図っていく必要がある。

基本項目：沖縄らしい優しい社会の構築

実施項目：歴史と誇りある伝統文化の継承と発展

重点施策事業名：復帰50年特別展「沖縄 復帰後」展（継続）

事業期間：令和3年度～令和4年度

部 課 等 名：文化観光スポーツ部 博物館・美術館

1 事業の目的・内容

復帰50年事業として、令和4年7月20日より開催する特別展。1972年5月15日を起点に沖縄県の発展と葛藤のあゆみを振り返り、県民意識調査や歴史資料、当時の映像などを出展する。

2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和4年度				備 考
	計 画		実 績		
	当 初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
復帰50年 特別展 「沖縄復帰 後」展	6,889	1 復帰50年特別 展「沖縄復帰後」 展 ・1972年5月15日 を起点に、復帰以 降の沖縄の発展と 葛藤のあゆみに関 する様々な収蔵資 料及び関係資料等 を収集・借用して 展示する展覧会等 を実施する。	6,791	1 復帰50年特別 展「沖縄復帰後」 展 ・1972年5月15日 を起点に、復帰以 降の沖縄の発展と 葛藤のあゆみに関 する様々な収蔵資 料及び関係資料等 を収集・借用して 展示する展覧会を 開催するとともに、 関連イベント として講演会、親 子バスツアー、関 連舞台等を実施し た。	最終予算額 6,889 執行率 98.6% 不用額 98

3 事業の効果/課題

(1) 復帰50年特別展「沖縄 復帰後」展

効果： 本特別展期間中に10,620名もの方々に観覧いただくとともに関連イベントにも多数の参加があり、県内外の様々な世代の方々に対して、沖縄の復帰後のあゆみの振り返り及び未来について考える機会を提供することができた。

課題： 沖縄が歩んできた歴史・文化等に多くの方々に触れ親しむ機会を提供するため、今後も本県の様々な節目に合わせて、多様な視点からテーマ設定した展覧会等を実施していく必要がある。

基本項目：沖縄らしい優しい社会の構築

実施項目：歴史と誇りある伝統文化の継承と発展

重点施策事業名：復帰50年展「琉球－美とその背景－」（新規）

事業期間：令和4年度

部課等名：文化観光スポーツ部 博物館・美術館

1 事業の目的・内容

復帰50年事業として、琉球の栄華の象徴とも言うべき美の世界とその背景を探ることをメインテーマとする。県内初公開となる資料を多数展示して、歴史的背景や文化的背景も含めて琉球の美の成り立ちを伝えることで、本県の歴史や文化を再考する契機とする。

2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和4年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
復帰50年 展 「琉球－ 美とその 背景－」	16,947	1 復帰50年展 「琉球－美とそ の背景－」 ・県内初公開とな る多数の資料をは じめ、琉球王国と して独自の文化が 発展する中で生み 出されてきた美術 工芸品等の文化財 を紹介する展覧会 等を実施する。	13,696	1 復帰50年展 「琉球－美とそ の背景－」 ・県内初公開とな る多数の資料をは じめ、琉球王国と して独自の文化が 発展する中で生み 出されてきた美術 工芸品等の文化財 を紹介する展覧会 を実施した。	最終予算額 16,947 執行率 80.8% 不用額 3,251

3 事業の効果/課題

(1) 復帰50年展「琉球－美とその背景－」

効果： 本展開催期間中に12,053名もの来場者があり、沖縄の歴史や文化を再考する機会を提供することができた。

また、本展の関連展として、博物館・美術館も共催の立場で所蔵する文化財の貸出等の協力を行い、東京国立博物館及び九州国立博物館で開催された「沖縄復帰50年記念特別展 琉球」では、約13万人もの方々に観覧いただき、琉球王国の文化財について、多くの方々にその魅力を発信することができたものとする。

課題： 沖縄の歴史・文化等に多くの方々が触れ親しむ機会を提供するため、今後も本県の様々な節目に合わせて、多様な視点からテーマ設定した展覧会等を実施していく必要がある。

基本項目：沖縄らしい優しい社会の構築

実施項目：歴史と誇りある伝統文化の継承と発展

重点施策事業名：沖縄県空手振興事業（継続）

事業期間：平成29年度～令和13年度

部課等名：文化観光スポーツ部 空手振興課

1 事業の目的・内容

沖縄空手を保存・継承・発展させるため、「沖縄空手振興ビジョン」及び同「ロードマップ」に基づいた施策を実施する。

2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和4年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
沖縄県空 手振興事 業	133,413 (11,390)	1 沖縄県空手振興事業	122,201 (11,390)	1 沖縄県空手振興事業	☆ 最終予算額 133,440 執行率 91.6% 不用額 11,239
	7,848	(1)第2期沖縄空手振興ビジョンロードマップ策定事業 ・第2期沖縄空手振興ビジョンロードマップの策定	7,240	(1)第2期沖縄空手振興ビジョンロードマップ策定事業 ・第2期沖縄空手振興ビジョンロードマップの策定	最終予算額 7,848 不用額 608
	15,000	(2)沖縄空手流派指導体制構築事業 ・指導体系書の策定	14,623	(2)沖縄空手流派指導体制構築事業 ・指導体系書の策定	最終予算額 15,000 不用額 377
	22,500	(3)沖縄空手イベント開催事業 ・空手の日奉納演武、記念演武祭の開催	22,500	(3)沖縄空手イベント開催事業 ・空手の日奉納演武、記念演武祭の開催	最終予算額 22,500 不用額 0
	15,716	(4)沖縄空手指導者派遣事業 ・国内外への空手家の派遣	15,716	(4)沖縄空手指導者派遣事業 ・国内外への空手家の派遣	最終予算額 15,716 不用額 0
7,850	(5)沖縄空手県内普及促進事業 ・空手指導者を県内各地に派遣	7,136	(5)沖縄空手県内普及促進事業 ・空手指導者を県内各地に派遣	最終予算額 7,850 不用額 714	

11,545	(6) 沖縄空手案内センター事業 ・沖縄空手案内センターの開設	9,821	(6) 沖縄空手案内センター事業 ・沖縄空手案内センターの設置	最終予算額 11,545 不用額 1,724
8,050	(7) 沖縄空手普及 ・啓発事業 ・国内外の媒体を活用した空手の広報等	8,050	(7) 沖縄空手普及 ・啓発事業 ・国内のイベントへ参加し沖縄空手の周知を実施	最終予算額 8,050 不用額 0
5,500	(8) 沖縄空手会館ミュージアム事業 ・沖縄空手の資料収集・調査研究 ・沖縄空手会館での企画展の開催	5,500	(8) 沖縄空手会館ミュージアム事業 ・空手関連の新聞記事収集及び空手関連記事を紹介する展示パネルの作成 ・企画展・巡回展の実施	最終予算額 5,500 不用額 0
8,608	(9) 聖地・沖縄空手ガイド養成事業 ・沖縄空手専門のガイドの養成	8,583	(9) 聖地・沖縄空手ガイド養成事業 ・沖縄空手専門のガイドの養成	最終予算額 8,608 不用額 25
5,000	(10) 沖縄空手産業連携構築支援事業 ・ライセンスビジネス等調査検討、商標登録 ・一般向け映像コンテンツ制作	695	(10) 沖縄空手産業連携構築支援事業 ・「沖縄空手」ロゴマークの商標登録	最終予算額 5,000 不用額 4,305
14,406	(11) 沖縄県空手振興事業におけるその他事務費	10,947	(11) 沖縄県空手振興事業におけるその他事務費	最終予算額 14,433 不用額 3,486
(11,390)	(12) 第2回沖縄空手世界大会開催準備事業	(11,390)	(12) 第2回沖縄空手世界大会開催準備事業	最終予算額 11,390 不用額 0

3 事業の効果/課題

(1) 沖縄県空手振興事業

効果： 第2期沖縄空手振興ビジョンロードマップを策定し、令和5年度以降も県・空手関係団体・経済界等が一体となって必要な施策に取り組む体制を整えた。

また、空手の日記念奉納演武及び演武祭を開催し、演武祭の映像を配信するとともに、県内の小中学校に空手指導者を派遣する等、沖縄空手の普及・啓発に取り組んだ。

沖縄空手会館常設展及び企画展を開催するほか、座喜味城趾にて巡回展を開催しこれまでの企画展の内容を展示することで、空手会館の集客や知名度向上を図った。

課題： 県外での「空手発祥の地・沖縄」の認知度向上が課題となっていることから、沖縄空手の普及・啓発に係る取組のさらなる推進を図る必要がある。

基本項目：沖縄らしい優しい社会の構築

実施項目：歴史と誇りある伝統文化の継承と発展

重点施策事業名：沖縄空手世界大会開催事業（継続）

事業期間：平成29年度～

部 課 等 名：文化観光スポーツ部 空手振興課

1 事業の目的・内容

沖縄空手の愛好家が「空手発祥の地・沖縄」に集結し交流を深める場を創出するとともに、沖縄空手を保存・継承し将来にわたっての振興を図るため、第2回沖縄空手世界大会を開催する。

2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和4年度				備 考
	計 画		実 績		
	当 初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
沖縄空手 世界大会 開催事業	53,614	1 沖縄空手世界 大会開催事業 ・第2回沖縄空手 世界大会を開催す る。	53,557	1 沖縄空手世界 大会開催事業 ・第2回沖縄空手 世界大会を開催し た。 【参加実績】 参加国数 24カ国 参加選手 724名 (うち県外161名) (うち海外105名)	☆ 最終予算額 53,614 執行率 99.9% 不用額 57

3 事業の効果/課題

(1) 沖縄空手世界大会開催事業

効果： 第2回沖縄空手世界大会を開催することで、国内外の空手愛好家の交流が図られ、沖縄空手の魅力を国内外に発信できた。

課題： 沖縄空手を保存・継承し将来にわたっての振興を図るため、引き続き世界大会を定期開催していく必要がある。

基本項目：沖縄らしい優しい社会の構築

実施項目：歴史と誇りある伝統文化の継承と発展

重点施策事業名：沖縄空手少年少女世界大会開催事業（継続）

事業期間：平成29年度～

部 課 等 名：文化観光スポーツ部 空手振興課

1 事業の目的・内容

世界中の少年少女が「空手発祥の地・沖縄」に集結し、国際交流を通じて、沖縄空手の技のみならず、礼節を重んじ相手を思いやる精神性を学び、もって沖縄空手の保存・継承・発展に資するため、第1回沖縄空手少年少女世界大会を開催する。

2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和4年度				備 考
	計 画		実 績		
	当 初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
沖縄空手 少年少女 世界大会 開催事業	64,590 (64,590)	1 沖縄空手少年 少女世界大会開 催事業 ・第1回沖縄空手 少年少女世界大会 を開催する。	64,484 (64,484)	1 沖縄空手少年 少女世界大会開 催事業 ・第1回沖縄空手 少年少女世界大会 を開催した。 【参加実績】 参加国数 12カ国 参加選手1,196名 (うち県外100名) (うち海外 42名)	☆ 最終予算額 64,590 執行率 99.8% 不用額 106

3 事業の効果/課題

(1) 沖縄空手少年少女世界大会開催事業

効果： 第1回沖縄空手少年少女世界大会を開催することで、国内外の空手愛好家の交流が図られ、沖縄空手の魅力を国内外に発信できた。

課題： 沖縄空手を保存・継承し将来にわたっての振興を図るため、引き続き世界大会を定期開催していく必要がある。

基本項目：沖縄らしい優しい社会の構築

実施項目：歴史と誇りある伝統文化の継承と発展

重点施策事業名：沖縄空手ユネスコ登録推進事業（継続）

事業期間：令和元年度～

部 課 等 名：文化観光スポーツ部 空手振興課

1 事業の目的・内容

沖縄空手のユネスコ無形文化遺産登録を推進するため、登録に必要な調査・研究及び県民の気運醸成に向けた取組を実施する。

2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和4年度				備 考
	計 画		実 績		
	当 初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
沖縄空手 ユネスコ 登録推進 事業	7,741	1 沖縄空手ユネスコ登録推進事業 ・関係機関で構成する協議会を設置し、登録に必要な内容の検討を行うとともに、県民の気運醸成を図る。	7,452	1 沖縄空手ユネスコ登録推進事業 ・関係機関で構成する協議会を設置し、登録に必要な内容の検討を行ったほか、県民の気運醸成に向けたイベントを実施した。 ・空手や棒術等の所作が豊年祭等のムラ行事に取り入れられている実態を把握するための悉皆調査を実施した。	最終予算額 7,741 執行率 96.3% 不用額 289

3 事業の効果/課題

(1) 沖縄空手ユネスコ登録推進事業

効果： 沖縄空手のユネスコ無形文化遺産登録に向けた取組の着実な推進が図られた。

課題： 沖縄空手のユネスコ無形文化遺産登録の早期実現を図るため、引き続き県民の気運醸成及び調査・研究の取組を推進する必要がある。

調査・研究については、空手や棒術等の所作が豊年祭等のムラ行事に取り入れられている実態を把握するための悉皆調査を、令和6年度の取りまとめに向けて引き続き実施する必要がある。

基本項目：沖縄らしい優しい社会の構築

実施項目：歴史と誇りある伝統文化の継承と発展

重点施策事業名：多文化共生モデル等推進事業（継続）

事業期間：平成26年度～

部課等名：文化観光スポーツ部 交流推進課

1 事業の目的・内容

在住外国人が安全して暮らせる多文化共生型社会を構築するため、県民の意識啓発等を図る。

2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和4年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
多文化共生モデル等推進事業	6,734	1 多文化共生推進調査事業 ・「おきなわ多文化共生推進指針」の施策例に基づき、市町村でモデル事業を実施し、その成果や課題・手法等を広く共有することで、市町村が多文化共生に関連した取組を実施しやすい環境を整える。	189	1 多文化共生推進調査事業 ・当初の計画から変更し、ロシアによるウクライナ侵攻の激化に伴い、沖縄県へ避難したウクライナ避難民への対応のため、国や市町村、県内で積極的に避難民支援を実施している関係機関と連携し、きめ細かな対応を行うための支援体制を整えた。	最終予算額 6,764 執行率 2.8% 不用額 6,575

3 事業の効果/課題

(1) 多文化共生推進調査事業

効果： 令和4年度は、当初の計画から変更し、ロシアによるウクライナ侵攻の激化に伴い、沖縄県へ避難したウクライナ避難民への対応のため、国や市町村、県内で積極的に避難民支援を実施している関係機関と連携し、きめ細かな対応を行うための支援体制が整備された。

課題： 令和2年度の「多文化共生推進調査」により、在住外国人や市町村の取組について現状把握を行ったところ、約6割の市町村で多文化共生施策の推進への取組を行っていないことが明らかとなったことから、引き続きモデル事業の実施や、各種啓発等に努め、市町村等の取組を促進していく必要がある。

基本項目：沖縄らしい優しい社会の構築

実施項目：安心・安全で快適な社会づくり

重点施策事業名：おきなわユニバーサルツーリズム推進事業（継続）

事業期間：平成30年度～令和13年度

部 課 等 名：文化観光スポーツ部 観光振興課

1 事業の目的・内容

年齢や性別、障がいの有無等に関わらず、すべての観光客が沖縄を楽しめるようにきめ細かな受入体制の整備を図るとともに、ユニバーサルツーリズム情報の発信により、観光誘客を促進する。

2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和4年度				備 考
	計 画		実 績		
	当 初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
おきなわ ユニバー サルツー リズム推 進事業	18,770	1 おきなわユニ バーサルツー リズム推進事業 ・観光関連事業者 を対象としたセミ ナー開催及びアド バイザー派遣の実 施。 ・おきなわユニバ ーサルツーリス ムの認知度向上を 図るためのプロモ ーション実施。 ・県内観光関連事 業者を対象にユニ バーサルツーリス ムにかかる取組状 況調査実施。	17,693	1 おきなわユニ バーサルツー リズム推進事業 ・観光関連事業者 を対象としたセミ ナーを6回、アド バイザー派遣を2 回実施し、210人 が参加した。 ・おきなわユニバ ーサルツーリス ムの認知度向上を 図るため、展示会 に2回出展した他、 ポータルサイトを 活用した情報発信 及びイメージ動画 の作成を行った。 ・県内観光関連事 業者を対象にユニ バーサルツーリス ムにかかる取組状 況調査実施した。	☆ 最終予算額 18,770 執行率 94.3% 不用額 1,077

3 事業の効果/課題

(1) おきなわユニバーサルツーリズム推進事業

効果： セミナーの開催等により、観光バリアフリーに対する意識啓発及びノウハウが共有され、県内の受入体制の促進に繋がった。また、展示会への出展、ポータルサイトを活用した情報発信等により、おきなわユニバ

ーサルツーリズムの認知度向上に寄与した。

課題： 県内観光関連事業者における観光バリアフリー受入体制の積極的な取組を促し、さらなる受入体制の充実を図る必要がある。また、国内外に対し、バリアフリー観光地としての認知度を高めていく必要がある。